

米に関するマンスリーレポート

新潟県版 2019年3月

《今月の特集1》

平成31年産米等の第1回中間的取組状況（平成31年2月末現在）

農林水産省は、平成31年産における各都道府県の主食用米、戦略作物等の作付動向（平成31年2月末現在）を取りまとめ、3月15日に公表しました。

これによると、本県を含め40都道府県が平成30年産並に主食用米を作付けすると見込まれており、平成31年産の作況が平年並になると国の需要見通しを上回る生産になることが懸念されています。

特に本県は、平成30年産の主食用米の作付面積がその前年より既に4,400ha増加しており、平成31年産米については、適正生産の推進が不可欠な状況と考えております。

認定方針作成者と生産者の皆様におかれては、需要のある加工用米や米粉用米の生産拡大に努めるなど、需要に応じた米の生産に取り組みましょう。

第1回中間的取組状況につきましては、農林水産省HPをご参照ください。

http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/s_taisaku/190315.html

平成31年産米等の第1回中間的取組状況（平成31年2月末現在）

都道府県	主食用米		戦略作物										備蓄米	
	30年産実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)	飼料用米		加工用米		WCS		米粉用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		30年産 実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)
			30年産 実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)	30年産 実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)	30年産 実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)	30年産 実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)	30年産 実績 (ha)	31年産の 動向 (対前年実績)		
北海道	98,900	→	1,841	↗	4,547	↗	540	→	57	→	537	→	-	↗
岩手	48,800	→	3,986	↘	1,199	↗	1,620	↘	58	→	171	↗	47	↗
宮城	64,500	→	5,553	↗	1,107	↘	2,006	↗	68	→	213	↗	1,404	↗
秋田	75,000	→	1,993	↘	9,786	→	1,229	→	233	↗	252	→	2,393	↗
山形	56,400	→	3,704	↘	4,141	↗	908	↗	136	↘	226	↗	3,508	↘
福島	61,200	→	5,275	→	439	→	1,052	↘	2	↘	38	↗	3,170	↘
茨城	66,800	→	8,003	→	1,260	→	550	↘	39	→	224	↗	122	↗
栃木	54,700	↘	9,155	↗	2,023	↘	1,626	→	604	↗	54	↗	1,046	↗
千葉	53,900	→	4,379	↗	1,583	→	984	↘	44	↗	19	↗	120	↗
新潟	104,700	→	2,908	↘	7,851	↘	386	↗	1,932	↘	866	↗	2,677	↗
富山	33,300	→	1,229	↗	1,549	→	405	↘	78	→	219	↗	2,086	↗
石川	23,200	→	645	→	795	→	87	→	71	→	163	↘	875	↗
福井	23,600	↘	1,217	→	741	↗	102	↘	91	↗	117	↗	469	↗
全国	138.6万		79,535		51,490		42,545		5,295		3,578		21,606	

・30年産の主食用米作付面積が50,000ha以上の道県及び北陸3県のみ抜粋。

- (注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「31年産の動向（対前年実績）」は、30年産作付実績と比較し、「↗：増加傾向」、「→：前年並み傾向」、「↘：減少傾向」で分類。
(注2) 主食用米の「30年産実績（ha）」は、平成30年12月10日統計部公表の主食用作付面積。
(注3) 飼料用米、加工用米、WCS、米粉用米、新市場開拓用米の「30年産実績（ha）」は、平成30年産新規需要米の取組計画認定面積。
(注4) 備蓄米の「30年産実績（ha）」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

《今月の特集2》

「平成30年度飼料用米多収日本一」北陸農政局長賞の受賞

「飼料用米多収日本一」の以下の両部門で、本県の生産者が700kg/10aを超える収量を確保し、北陸農政局長賞を受賞しました。

受賞者の成績や取組内容については下表のとおりとなっています。

生産者の皆様におかれては、こうした取組を参考に飼料用米等の多収品・低コスト栽培を導入し、所得の確保を目指しましょう。

表彰部門	単位収量の部	地域の平均単収からの増収の部
受賞者名	まるやま ひさお 丸山 久夫 氏	なかがわ せいいち 中川 誠一 氏
所在地	新潟県新潟市	新潟県佐渡市
品種名	アキヒカリ 2.5ha	新潟次郎 1.9ha
経営内容	主食用米11.1ha、 飼料用米 2.5ha 等	主食用米6.2ha、 飼料用米1.9ha 等
10a当たり収量 (地域の平均単収からの増収)	771kg/10a (+225kg/10a)	736kg/10a (+272kg/10a)
取組のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・早生品種を導入し、主食用米との作期分散による適正管理 ・茎数確保のための天候に応じた深水管理や穂肥の実施 ・大豆跡での栽培（施肥量削減） ・畦塗りの徹底による漏水防止で除草剤効果向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・早生品種を導入し、主食用米との作期分散による適正管理 ・化成肥料による多肥栽培 ・ほ場の団地化による作業の効率化

詳細は、北陸農政局ホームページでご覧になれます。

<http://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/190306.html>

《今月の特集3》

平成31年産 業務用米の販路拡大について

年々増加する業務用需要に応え、新潟米の安定需要を確保するため、県では、多様な銘柄米の生産者等と、首都圏等の中食・外食分野企業とのマッチングの場として「新潟米産地プレゼンテーション及び商談会」を開催しています。

新年度は商談会のほか、新たに生産者向けの販路拡大セミナーの開催も計画しています。新規取引先の確保、または今後の作付計画検討の場として、是非参加をご検討ください。

「業務用米販路拡大セミナー」

- ・時期・場所：8月上旬、県内
- ・開催内容：首都圏の業務用実需等による講演
県内生産者による業務用取引の事例紹介 等
- ・参集範囲：JA、農業法人、個人生産者、行政関係者等 100名程度
- ・募集期間：6月中旬～7月下旬

「新潟米産地プレゼンテーション及び商談会」

- ・時期・場所：11月中旬、東京都内ホテル
- ・開催内容：新潟米産地プレゼンテーション（生産者等による産地PR、新潟米食べ比べ）
商談会及び展示会（事前マッチングによる個別商談、展示ブースでの商談）
- ・募集定員：多様な銘柄米の生産者等（JA、農業法人、個人等） 40名程度
- ・参加費：無料（会場までの旅費等は自己負担）
- ・募集期間：7月上旬～8月下旬

開催時期・場所・内容等は現時点での見込みであり、今後変更になる可能性があります。

〈平成30年度「新潟米産地プレゼンテーション及び商談会」開催実績〉

平成30年度は東京で2回、大阪で1回、新潟での現地交流会を1回開催し、首都圏・関西圏企業延べ152社、県内生産者等延べ66者が参加しました。

商談実績：21件の商談成立、67件が商談継続中（H31.2末現在）



〈生産者等による産地PR〉



〈展示ブースでの自由な商談〉



〈事前マッチングによる個別商談〉

※開催情報等詳細は県のホームページにも掲載しています。（「新潟米産地プレゼン」で検索）

問い合わせ先：新潟県農林水産部食品・流通課食品産業係（電話 025-280-5306）



新潟米の販売状況

概況

新潟米の販売状況は、作柄の影響による品薄感から引き合いを強めている

販売比率

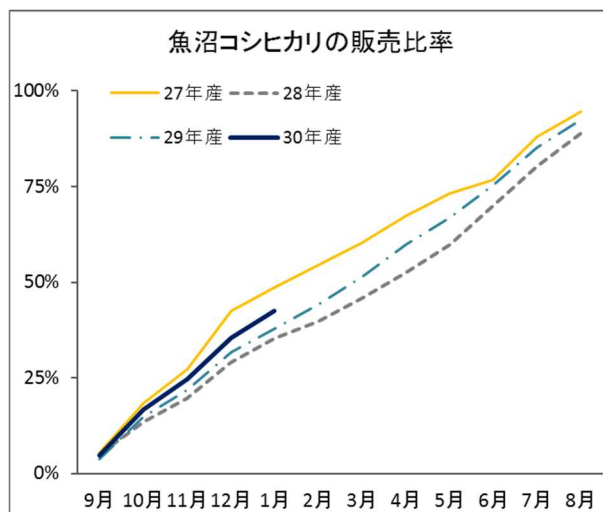
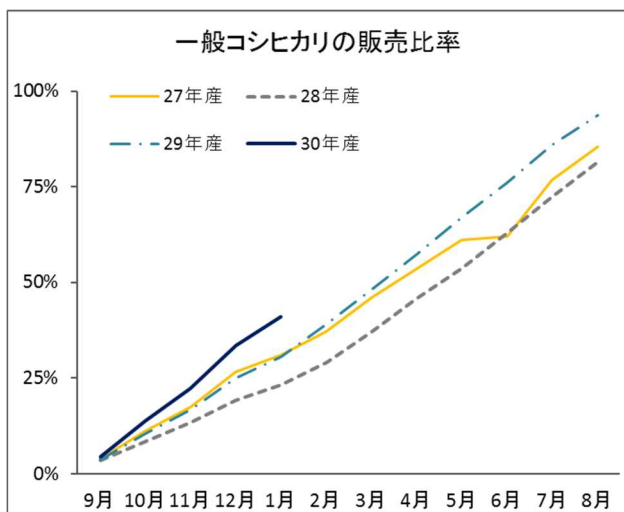
作柄不良等により、集荷量が減少したことから、これまでのところ全銘柄で販売比率（出荷進度）は前年及び前々年を上回っている

(1) 一般コシヒカリ

1月の一般コシヒカリの販売比率は、前年比10ポイント増の41%となり、前年及び前々年を上回って推移している。

(2) 魚沼コシヒカリ

1月の魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比4ポイント増の42%となり、前年及び前々年を上回って推移している。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	3%	8%	13%	19%	23%	29%	37%	46%	54%	63%	72%	81%
	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	14%	22%	33%	41%							
魚沼 コシヒカリ	28年産	5%	13%	20%	29%	35%	40%	46%	52%	60%	70%	80%	89%
	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	5%	17%	25%	36%	42%							
岩船 コシヒカリ	28年産	4%	12%	18%	24%	30%	37%	46%	55%	63%	70%	80%	93%
	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%							
佐渡 コシヒカリ	28年産	5%	15%	21%	28%	36%	45%	54%	60%	68%	75%	82%	89%
	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%							

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産は、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後、集荷量の増加に伴い比率が変動する場合がある



在庫状況

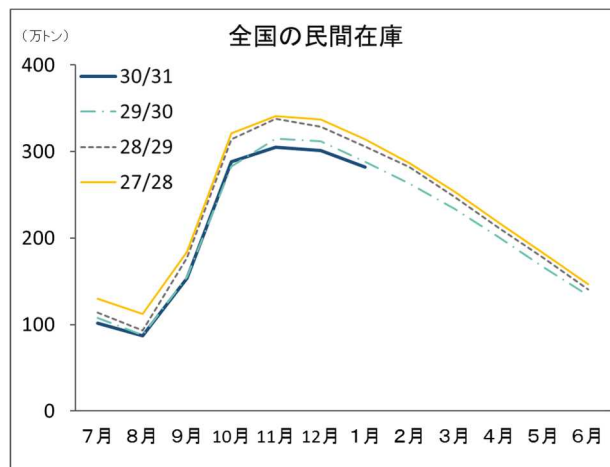
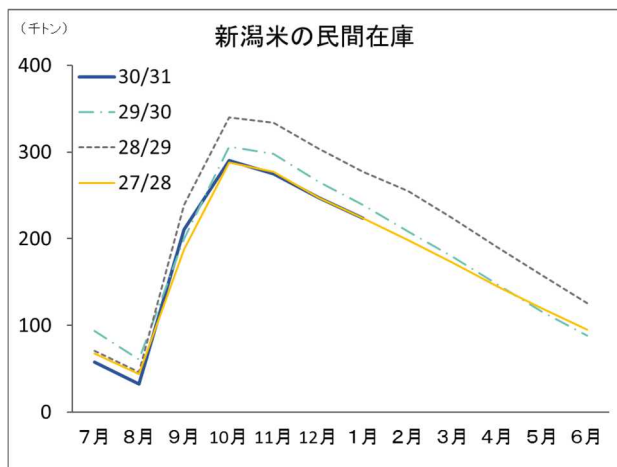
1月の新潟米の民間在庫は、作柄の影響で前年及び前々年を下回った

(1)新潟米

1月の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比6.3%減の224千トンとなり、4カ月連続前年を下回った。

(2)全国

1月の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比2.1%減の282万トンとなり、3カ月連続前年を下回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	28/29	70	47	239	340	333	304	277	255	224	190	158	126
	28年産米	0	1	208	309	305	279	256	237	210	179	149	119
	1年古米(27年産)	67	43	28	29	27	23	20	17	13	10	8	6
	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6
	30/31	58	32	210	290	275	248	224					
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219					
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4					
全国	28/29	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
	28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
	1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4
	30/31	102	87	154	288	305	301	282					
	30年産米	1	18	106	249	275	278	264					
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16					

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

相対取引価格

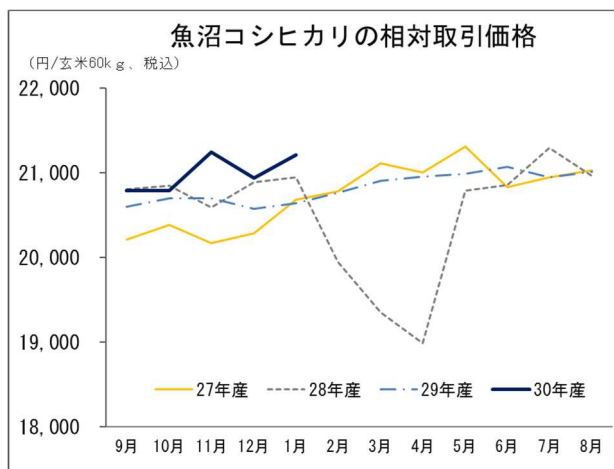
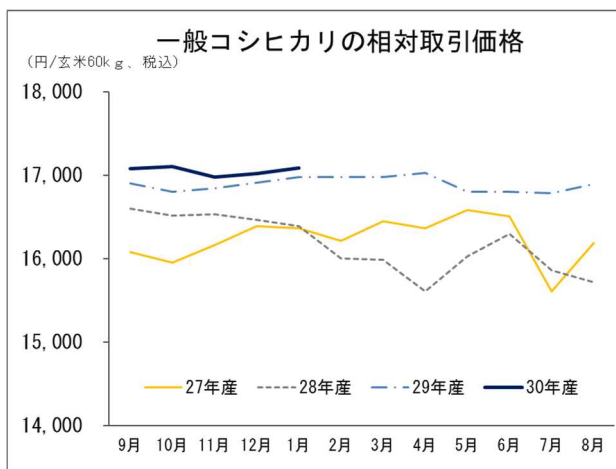
コシヒカリの相対取引価格は、作柄の影響で品薄感から引き合いを強めており、2か月連続で前年産を上回った

(1)一般コシヒカリ

1月の一般コシヒカリの相対取引価格は、前年比0.6%上昇し、17,090円(玄米60kg、税込)となっている。

(2)魚沼コシヒカリ

1月の魚沼コシヒカリの相対取引価格は、前年比2.8%上昇し、21,210円(玄米60kg、税込)となっている。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	16,599	16,517	16,529	16,466	16,390	16,001	15,989	15,607	16,029	16,295	15,856	15,716
	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090							
魚沼 コシヒカリ	28年産	20,803	20,848	20,589	20,893	20,945	19,944	19,354	18,993	20,790	20,858	21,292	20,960
	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210							
岩船 コシヒカリ	28年産	17,038	17,037	17,004	16,970	16,955	16,741	16,856	15,465	17,037	16,937	-	-
	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493							
佐渡 コシヒカリ	28年産	17,012	17,046	17,038	16,997	17,042	17,034	16,944	16,463	16,992	16,957	-	17,062
	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420							

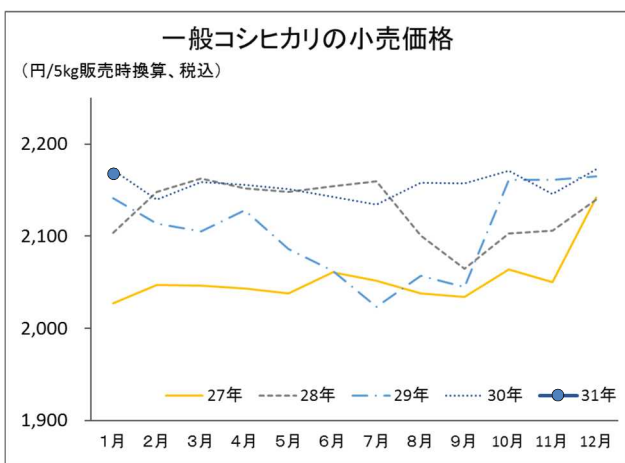
資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」



小売価格
(POSデータ)

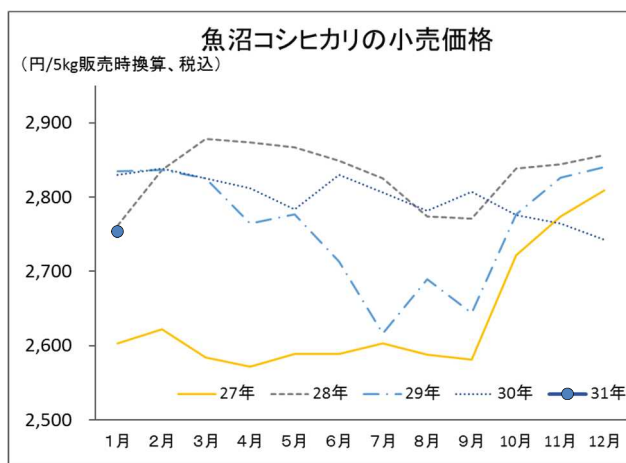
(1) 一般コシヒカリ

1月の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で0.2%下落し、2,168円(5kg袋販売時換算、税込)となり、2ヵ月ぶりに前年を下回った。



(2) 魚沼コシヒカリ

1月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で2.8%下落し、2,750円(5kg袋販売時換算、税込)となり、4ヵ月連続で前年を下回り、下降傾向が続いているため、今後の動向に注視が必要。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般 コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	31年	2,168											
魚沼 コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	31年	2,750											
岩船 コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	31年	2,244											
佐渡 コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	31年	2,262											

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

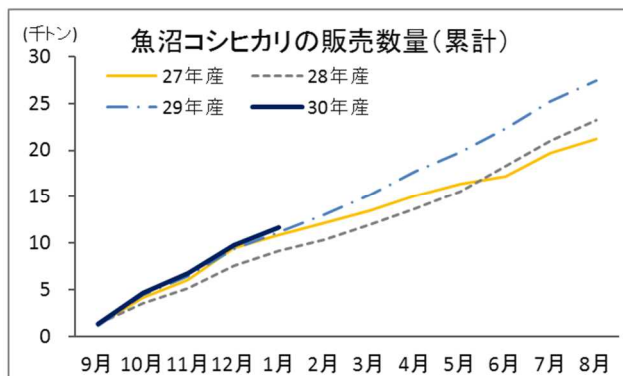
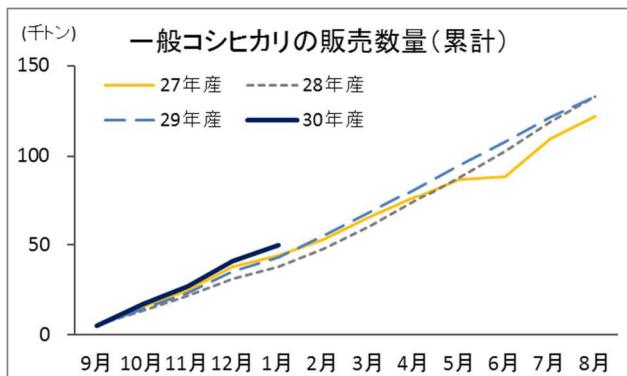
発行元:新潟県農林水産部農産園芸課

TEL:025-280-5295

URL:https://www.niigatamai.info

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

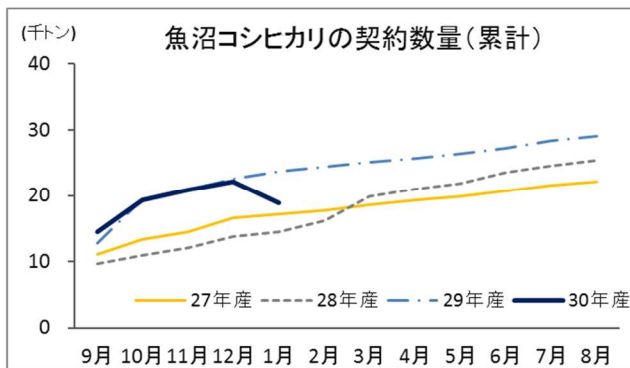
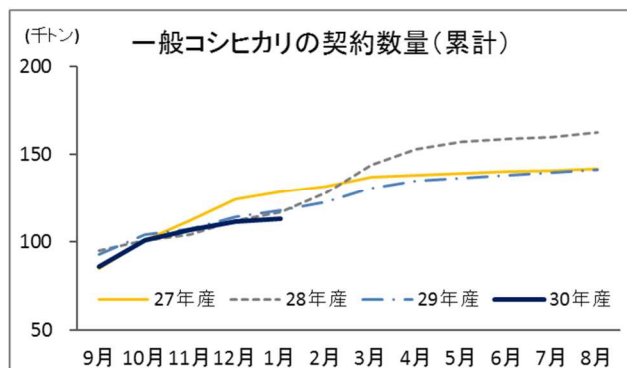
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	28年産	5.6	13.7	21.6	31.2	38.1	47.7	60.4	74.7	87.9	102.8	118.6	133.0
	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50							
魚沼 コシヒカリ	28年産	1.3	3.5	5.1	7.6	9.2	10.4	12.0	13.7	15.6	18.3	21.0	23.2
	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7							
岩船 コシヒカリ	28年産	0.5	1.6	2.4	3.3	4.1	5.0	6.2	7.4	8.5	9.5	10.8	12.5
	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7							
佐渡 コシヒカリ	28年産	0.8	2.3	3.3	4.5	5.7	7.1	8.5	9.5	10.8	11.9	12.9	14.0
	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5							

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

(玄米千トン)

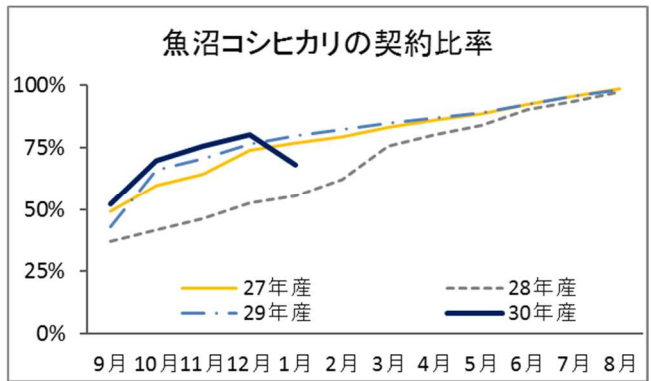
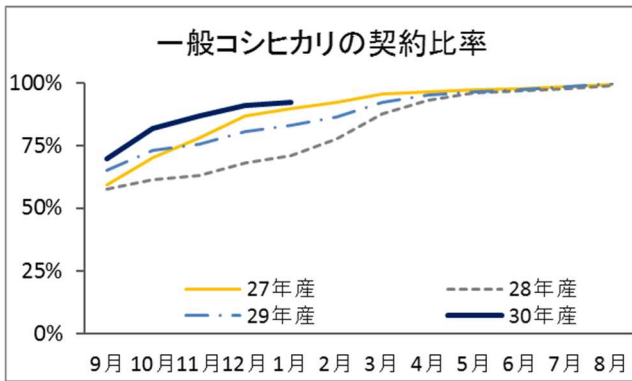
産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	28年産	94.8	100.7	103.8	112.0	116.6	127.6	143.8	152.7	157.0	158.4	159.8	162.2
	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9							
魚沼 コシヒカリ	28年産	9.7	10.9	12.1	13.7	14.5	16.2	19.8	21.0	21.9	23.6	24.5	25.4
	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8							
岩船 コシヒカリ	28年産	10.1	9.6	10.0	10.6	11.3	11.3	12.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.5
	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1							
佐渡 コシヒカリ	28年産	12.8	12.4	12.7	13.8	14.0	14.1	15.1	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7
	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7							

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注)30年産の12月から1月にかけての減少は、調査対象者の事前契約が解約されたことに伴うものである。

契約比率



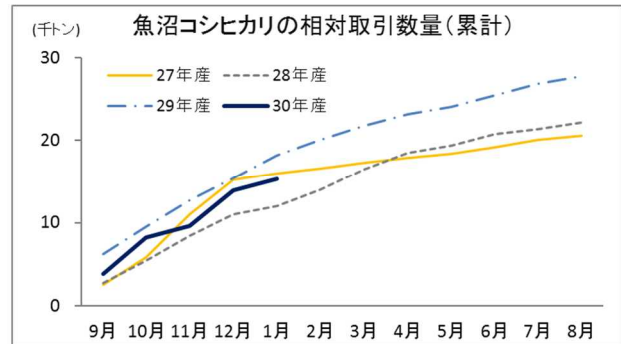
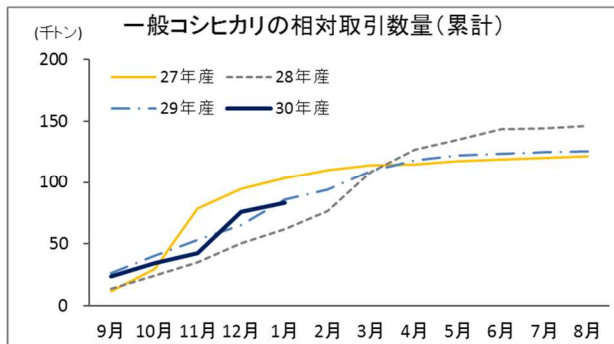
契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	58%	62%	63%	68%	71%	78%	88%	93%	96%	97%	98%	99%
	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	70%	82%	87%	91%	92%							
魚沼 コシヒカリ	28年産	37%	42%	46%	52%	56%	62%	76%	80%	84%	90%	94%	97%
	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	52%	70%	76%	80%	68%							
岩船 コシヒカリ	28年産	75%	71%	74%	79%	84%	84%	93%	99%	99%	99%	99%	100%
	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%							
佐渡 コシヒカリ	28年産	81%	78%	80%	87%	89%	89%	96%	97%	97%	98%	99%	100%
	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	93%	95%	95%	98%	98%							

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産は、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後、集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある

相対取引数量



相対取引数量(累計)の推移

(玄米トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	13,994	24,600	35,617	50,378	61,929	76,894	108,630	126,727	134,613	143,258	144,322	146,046
	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475							
魚沼 コシヒカリ	28年産	2,774	5,394	8,421	10,982	12,048	13,970	16,458	18,482	19,359	20,758	21,411	22,151
	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353							
岩船 コシヒカリ	28年産	2,891	3,944	4,827	7,091	8,205	8,387	10,823	11,990	12,225	13,306	13,306	13,306
	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762							
佐渡 コシヒカリ	28年産	2,168	3,569	5,302	8,099	9,944	10,517	13,603	14,592	15,186	16,261	16,261	16,421
	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749							

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2)相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。